



2026年 第2弾！

誰もが安心して働ける社会へ

労働基準監督官OPENゼミ

労働基準監督官は、労働基準関係法令に基づき、工場や建設現場などあらゆる職場に立ち入り、事業主に対し法に定める基準を遵守させることにより労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを任務とする、厚生労働省の専門職員（国家公務員）です。

対面&オンライン

開催日 2026年8月26日(水) 13:30~15:30

※ 対面では実地で、オンラインではバーチャルで職場見学を実施します。

開催日

内容

監督官の仕事、監督官とのフリートーク、職場見学など

WEB : https://jsite.mhlw.go.jp/wakayama-roudoukyoku/home/20130122_00009.html

場所

和歌山労働局 3階会議室（和歌山市黒田2-3-3和歌山労働総合庁舎）

対象

社会人、大学生、大学院生、短大・高専生、高校生等

高校生以上ならどなたでも参加できます。既卒者・社会人の方も大歓迎！
文系・理系を問わず参加できます。（文系向け・理系向け、両方の説明をします。）

お申し込み

和歌山労働局 監督課 電話：073-488-1150

※メールでも申し込みます。✉ kantokuka-wakayamakyoku@mhlw.go.jp

※現地参加のほか、オンライン参加では全国どこからでも視聴できます

（令和8年8月）

働く人の安全と労働条件を守る

労働基準関係法令に基づく企業への立入調査、労働災害防止のための安全衛生指導、司法警察権限の行使など…日々これらを積み重ね、働く人の安全と労働条件を守っています。

社会をより良くしたい、その思いに応える仕事があります。

どういう人が監督官になっていますか？

法文系や理工系など幅広い学部・専攻の方が、監督官になっています。工場や建設現場等あらゆる職場に立ち入るため、理工系の方も積極的に採用しています。最近では、法学、経済、経営、文学、社会学、国際関係のほか、教育、福祉、健康・医療等学部・専攻の方の受験も増えています。また、民間企業・官公庁等の経験者など、多様な人材が活躍しています。

採用後のキャリアパスは？ 研修制度はどうなっていますか？

採用後1年間は、原則として採用労働局の労働基準監督署に配属され、法律知識の有無にかかわらず約2か月間の中央研修の受講や、第一線での業務を通じて、関係法令や必要な専門知識を習得します。また、その後の勤務においても、キャリアに応じた中央研修が行われます。所定のキャリアを重ねた後は、労働局・監督署の幹部職員として、業務計画の立案や組織運営にも携わっていくこととなります。

——— 続きは OPENゼミで！ご来場をお待ちしています ———

開催日	開催労働局	青字の開催地はオンライン参加可能 (一部開催地はオンラインのみ)
8月21日(金)	徳島	
8月22日(土)	愛知	
8月24日(月)	北海道	
8月25日(火)	群馬、福井、大阪、熊本	
8月26日(水)	青森、秋田、和歌山、徳島 厚生労働省(東京)※労働基準監督官オムニバス説明会2026の一部として開催	
8月27日(木)	東京、神奈川、富山、石川、岐阜、静岡、三重、京都、奈良、島根、山口	
8月28日(金)	山形、千葉、奈良、島根	
8月29日(土)	北海道、山形、大阪、奈良	
8月31日(月) 以降	8/31(月)滋賀、9/4(金)、7(月)大阪※夏の業務体験会として開催、9/9(水)群馬 9/2(水)、9(水)厚生労働省(東京)※労働基準監督官オムニバス説明会2026の一部として開催	

他の労働局の説明会に参加希望の方は、「労働基準監督官採用試験」→「これから受験をお考えの方へ～労働基準監督官業務説明会～」にある「開催労働局・開催日時一覧」をご確認の上、各開催労働局へ直接お申し込みください。



労働基準監督官
採用試験